

平成 30 年産米の放射性物質検査の結果について(第 3 報)

【要旨】

- 平成 30 年産米の放射性物質検査計画に基づき、5 検体について検査を実施した結果、いずれも**不検出**でした(詳細は下表のとおり)。
- この結果を受けて、検査が終了した市町村の平成 30 年産米の出荷・販売・譲渡が可能となりました。

【参考】30 年産の米の検査は、市町村ごとに順次行います。

検査結果一覧

No.	生産地	検体作成日	測定値(単位: Bq/kg)		
			放射性セシウム		
			Cs-134	Cs-137	計
1	花巻市	9 月 10 日	不検出 (<3.0)	不検出 (<3.0)	不検出 (<5.9)
2	北上市	9 月 10 日	不検出 (<2.8)	不検出 (<3.8)	不検出 (<6.5)
3	釜石市	9 月 11 日	不検出 (<2.6)	不検出 (<3.1)	不検出 (<5.6)
4	紫波町	9 月 11 日	不検出 (<2.5)	不検出 (<3.4)	不検出 (<5.9)
5	大槌町	9 月 11 日	不検出 (<2.7)	不検出 (<2.8)	不検出 (<5.4)

(参考) 食品衛生法上の基準値(一般食品)
放射性セシウム(Cs-134 と Cs-137 の計): 100Bq/kg

(注 1) 「測定値」欄の()内は検出限界値

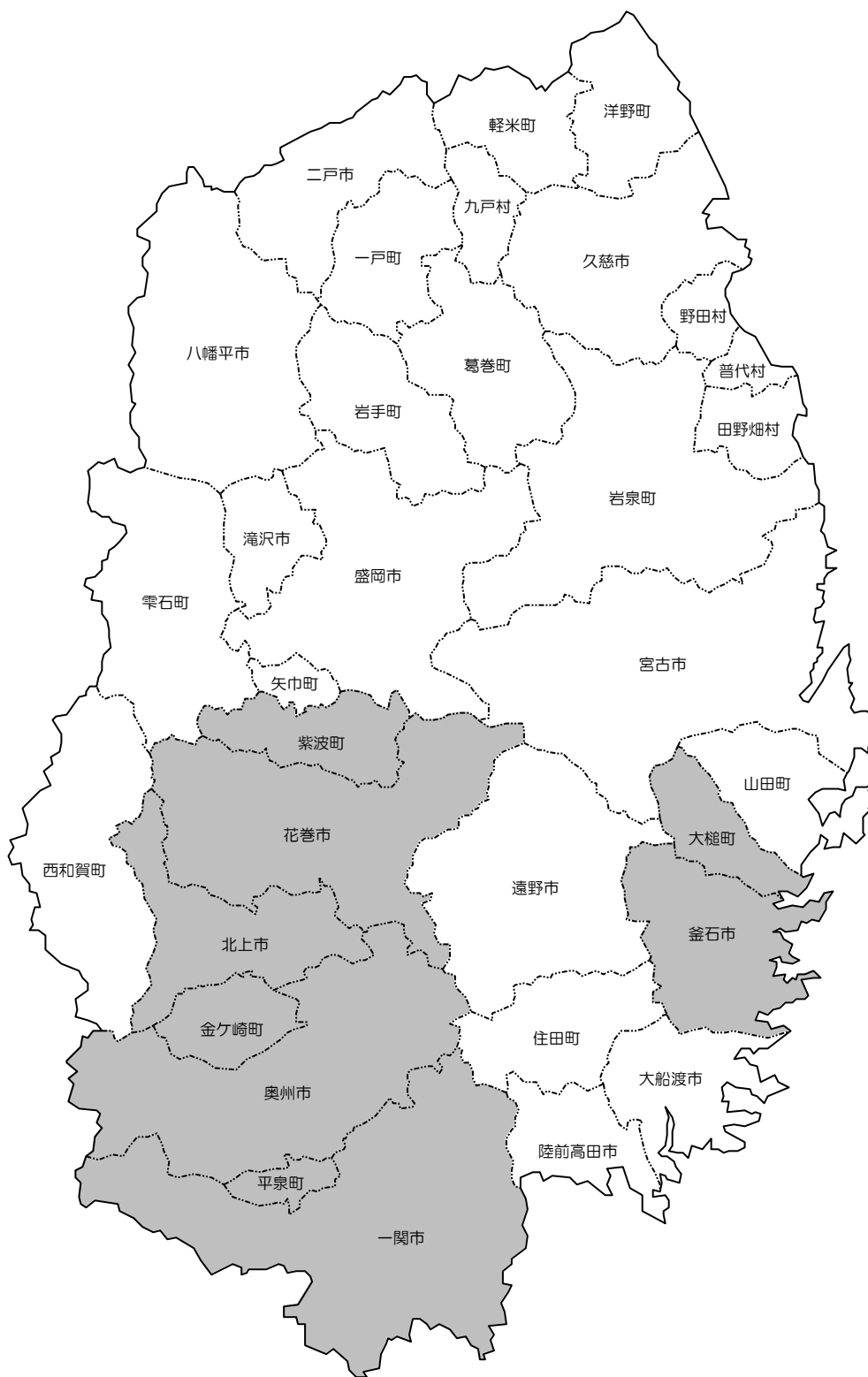
(注 2) 検査機関: (一財)東京顕微鏡院

(注 3) 測定機器: ゲルマニウム半導体検出器

【参考】平成 30 年産米の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村

花巻市、北上市、一関市、釜石市、奥州市、紫波町、金ヶ崎町、平泉町、大槌町

【参考】平成30年産米の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村



平成30年産米の出荷・販売・譲渡が可能となっている市町村

花巻市、北上市、一関市、釜石市、奥州市、紫波町、金ヶ崎町、平泉町、大槌町